

# 經營戰略

## テーマ

お客様第一主義の再構築 ⇔ <sup>ふるさと</sup>故郷の再発見  
2010年4月～2015年3月（計画期間5年間）

## 期間

第一フェーズ  
2010年4月  
～2012年3月

県内マーケットの徹底した調査・深耕により  
成長基盤の礎を再構築

第二フェーズ  
2012年4月  
～2015年3月

環境適応に向け進化した人材とICTにより  
総合的に地域貢献する銀行グループの実現

## 基本方針

1. 健全かつ強靱な経営体質の戦略的向上
2. 地元のお客様との稠密な取引の拡大・深化
3. 主体的で創造性豊かな人材の育成

# 第1フェーズの進捗状況

## ◆コア目標

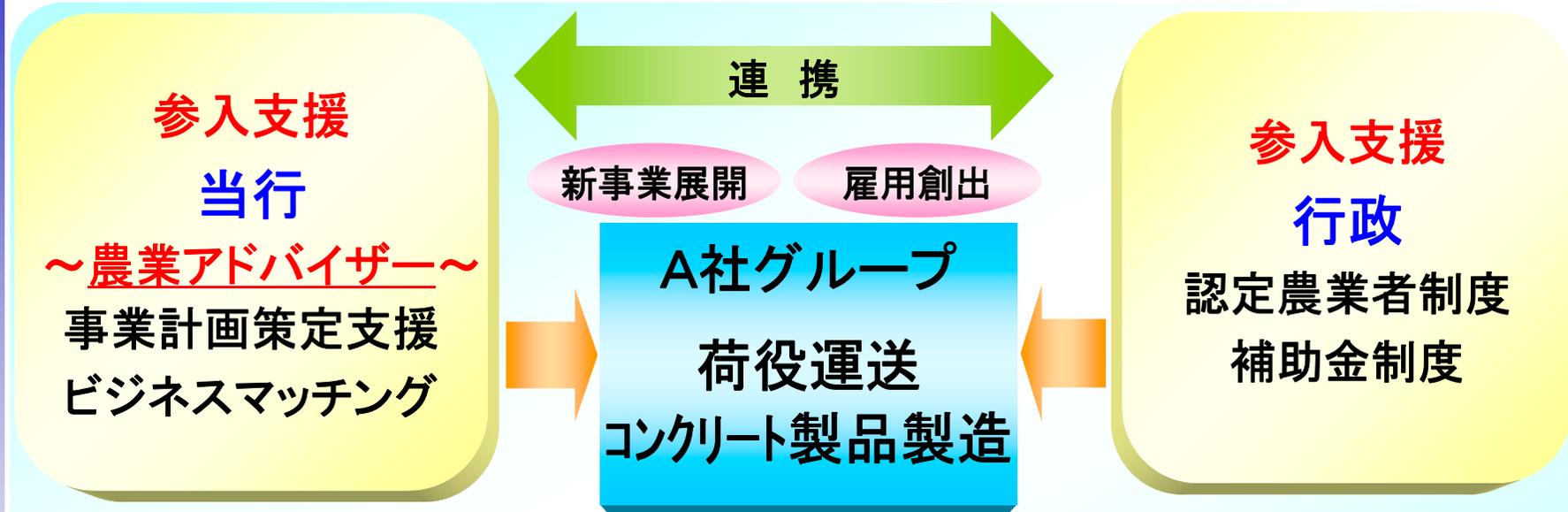
	2010年度実績	第1フェーズ目標(2011年度)
業 務 粗 利 益	587億円	615億円
当 期 利 益	108億円	100億円
R O A ( 当 期 利 益 )	0.28%	0.26%
T i e r I 比 率	12.43%	12.4%
修 正 O H R	62.70%	62.0%

## ◆サブ目標

	2010年度実績	第1フェーズ目標(2011年度)
総取扱資金量増加額	+1,635億円	+2,000億円
不良債権比率	2.47%	2.20%

# 故郷の再発見～具体例①農業

## 「椎茸栽培」事業への新規参入支援



## 異業種から農業への新規参入を実現

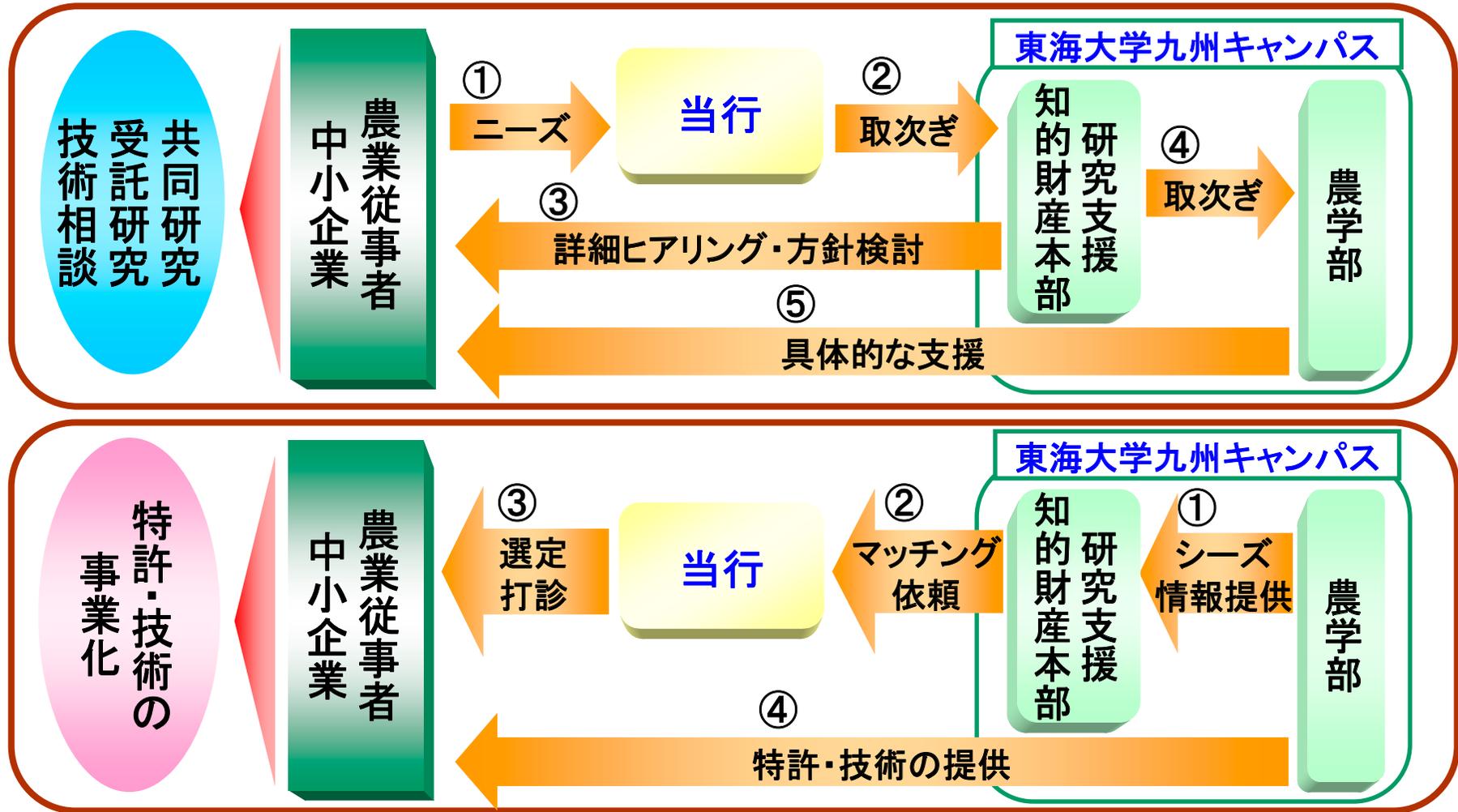
A社グループとの取引の深化・拡大  
県内で20名の新規雇用

■異業種からの農業参入支援 '10年度実績 15件

# 故郷の再発見～「産」「学」連携による農業支援

## 東海大学九州キャンパスとの「業務協力に関する協定」

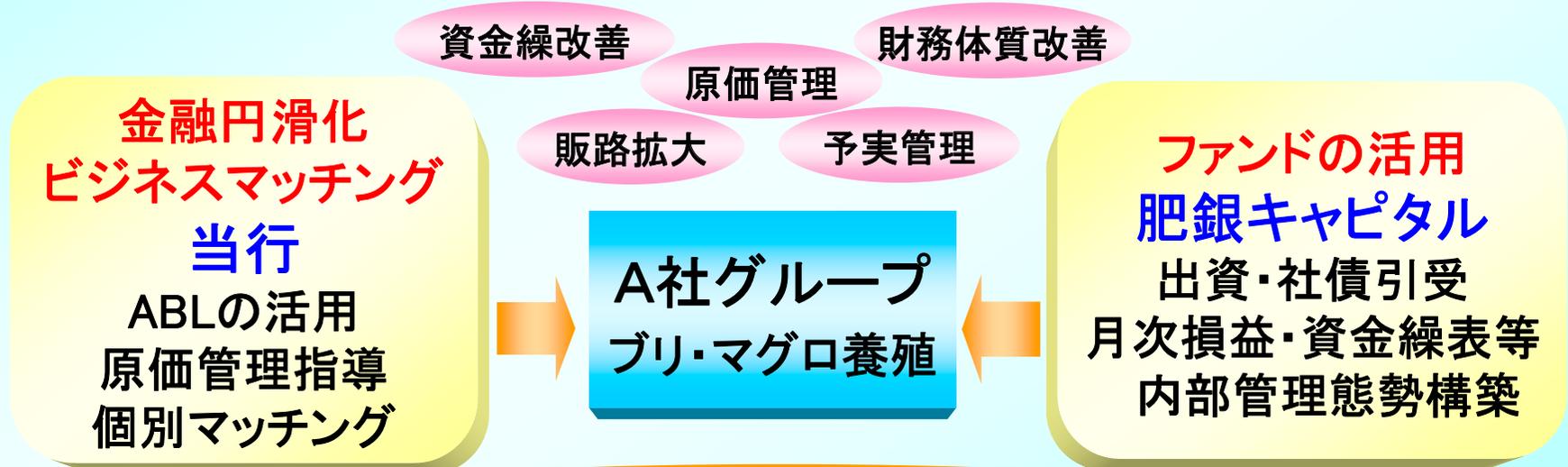
■ 地域の農業従事者、中小企業等が抱える技術的な課題に関し、東海大学九州キャンパスと連携して、事業拡大、新商品開発等の課題解決を支援



# 故郷の再発見～具体例②水産業

## 養殖事業への支援事例

民間事業者としては初めて「完全養殖クロマグロ」を養殖



天草の地域資源を活用した新規事業展開  
雇用創出や名産品としての地域活性化

■ '11年3月九州財務局より「地域密着型金融」の顕彰を受ける

# 故郷の再発見～具体例③観光業

## 観光業への支援

**ビジネスマッチング**  
情報営業部  
大手旅行代理店との  
連携

収益力改善

競争激化

設備更新

顧客ニーズ変化

**コンサルティング**  
情報営業部  
営業・サービス・収益  
改善策の提案

**ファンドの活用**  
肥銀キャピタル  
リニューアル資金を  
投資

Aホテル  
客室数：100  
創業78年

**金融円滑化**  
営業店  
日常的な関係強化に  
よる経営課題の把握

連携して活性化支援

## アドバイザーによる指導・提案等

■ 観光アドバイザーによる指導・提案  
～旅行者ニーズに適応した観光業への  
高度化(設備・ソフト)等の支援～

■ 観光セミナーの実施 (総勢204名参加)  
～阿蘇・山鹿・人吉・水俣で開催～



## 製造業への支援

ニッチ産業ながら、特殊技術を有している地場製造業

A社～医療関係・特装車両  
に特化した製造業者

'09年度 検診車  
国内生産台数第1位



レントゲン車



室内



撮影室内部

当行

高い技術力、製品の特殊性に注目  
国内マーケットの把握、将来性の検証

「故郷の再発見」

事業承継・ファイナンス等の提案

株主構成見直し

事業承継

A社

特殊車両製造

設備拡充

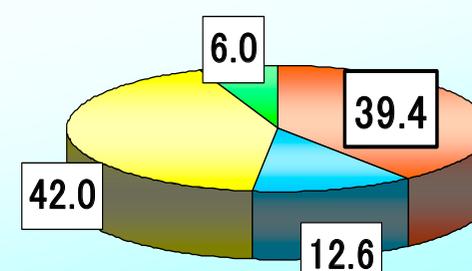
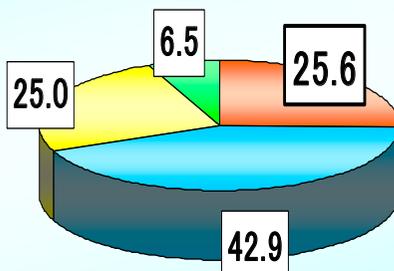
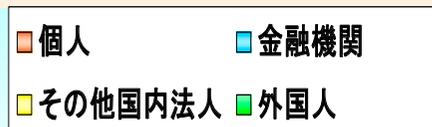
財務体質改善

円滑な事業承継・財務体質改善を実現  
取引の深化・拡大による当行メイン化

## 売出しの目的

- 地域の個人投資家を中心とした株主の増加、株主の分布状況の改善

2010年9月末  
当行株式  
保有割合



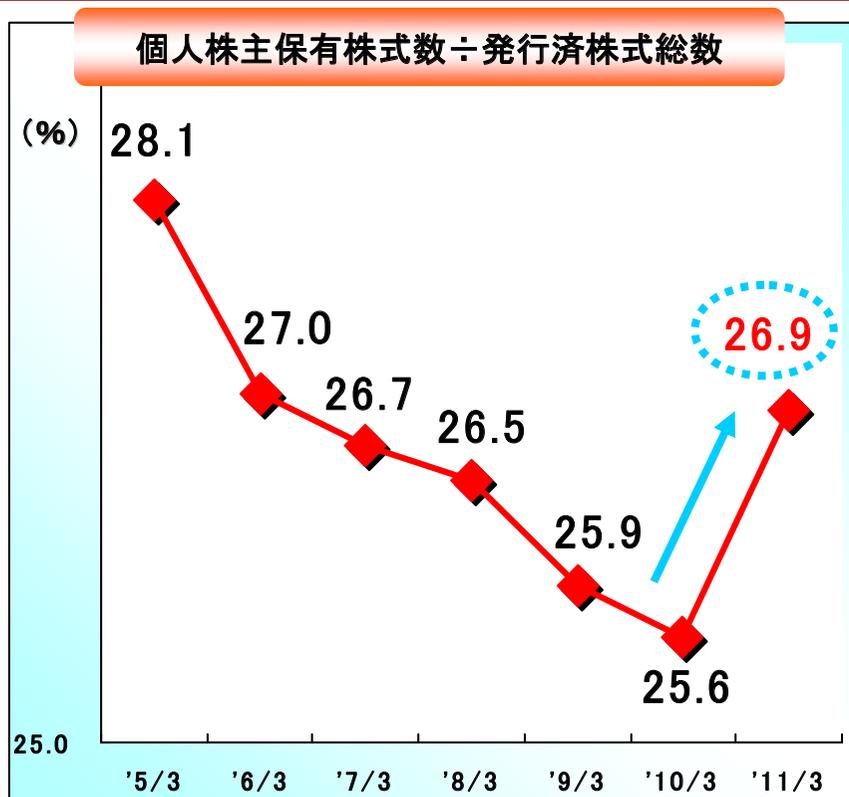
- 2010年10月 株式売出しを実施
- 売出し株数合計 10,350千株(発行済株式総数の4.4%)  
(大株主4社合計 9,000千株+オーバーアロットメント1,350千株)

## 売出し結果

- 結果～一般投資家9,315千株(90%)、機関投資家1,035千株(10%)
- 2011年3月末～個人株主数9,934名(前期比+738名 増加率+8.0%)  
県内株主数8,567名(前期比+743名 増加率+9.5%)

# 故郷の再発見～個人・県内株式数構成

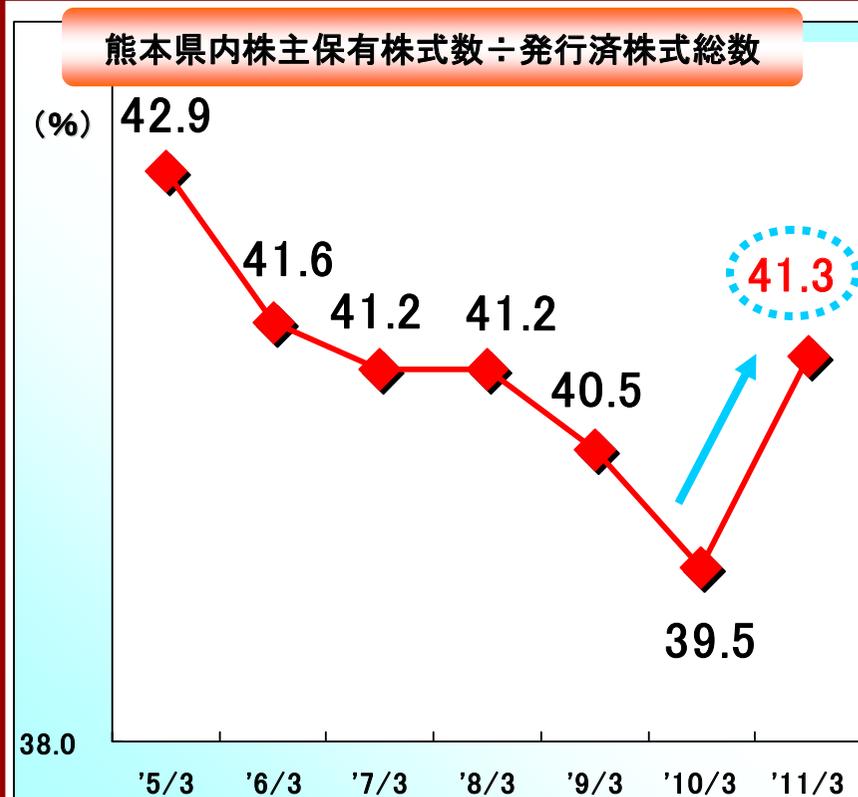
## 個人株主構成比の推移



個人株主の保有株式数が増加

- 株式数～前期比+3.0百万株
- 構成比～前期比+1.3%

## 県内株主構成比の推移



県内株主の保有株式数が増加

- 株式数～前期比+4.4百万株
- 構成比～前期比+1.8%

# 自己株式の取得・配当方針

## 自己株式の取得

■株主への還元策、株主価値希薄化への対応策として2001年度より継続

	'01～'09年度	'10年度	合計
取得株式数(千株)	19,242	3,000	22,242
取得総額(百万円)	11,840	1,461	13,301
配当総額(百万円)	12,803	1,884	14,687

2010年度  
総還元額～3,345百万円  
総株主還元率～30.9%

(注) 市場買付けのみ(単元未満株の買取等を除く)

(注) '10年度配当総額は予定

## 配当方針

銀行業の公共性に鑑み、健全経営の観点から適正な内部留保の充実に配慮しつつ、安定的な配当の維持に努める

	1株当り年間配当		
	通期	中間	期末
2011年3月期	8円00銭	4円00銭	※4円00銭
2010年3月期	7円50銭	3円50銭	4円00銭
2009年3月期	7円00銭	3円50銭	3円50銭

■'11年3月期の年間配当については通期8円(中間4円、期末4円)を予定